

授業名	教育と社会	学期	2016年度 秋学期
担当者	アール キンモンズ		
テーマ	教育・学歴格差		
授業の概要	江戸時代から現在まで学校教育と社会の相互関係を考察する。学校の教育以外の役割、特に社会化と階級の再生を説明する。日本の教育と海外の教育(主に英国と米国)を比較して日本の教育の特徴を客観的に断定する。		
授業の到達目標	まず日本における教育と社会の関係を把握し、海外との比較に基づき日本の特徴を理解し、説明ができる。その際に特定の価値観に偏った見方を排し、できる限り客観的で柔軟な視点から教育事象を考察することが出来る。その上で現代社会が直面する教育上の諸問題についてその要因や背景、本質を的確に理解することが出来る。		
授業形態	講義・ビデオ		
テキスト	なし		
参考文献	原清治, 山内乾史, 杉本均編 教育の比較社会学 (学文社, 2004) 苅谷剛彦著 学校って何だろう: 教育の社会学入門 (筑摩書房, 2005) ホームページに乗せているもの		
評価方法	平常点(20%)・学期末試験(80%)		
授業計画	1 授業: 授業紹介 2 授業: 教育用語としての「制度」の意味を考える - 日英米の比較 3 授業: 公立学校がなかった時代の教育 - 江戸時代の寺子屋 4 授業: 社会化の機構としての学校 - 国民の製造現場 5 授業: 宗教系学校を中心とした日本と欧米の比較 6 授業: 学校における体罰を許す社会と許さない社会 7 授業: 分岐点としての中等教育 8 授業: 少子化社会と教育格差 - 大学全入時代と大学運営 9 授業: 少子化社会と教育格差 - 学力低下 10 授業: エリート大学入学と教育格差 - 英国 11 授業: エリート大学入学と教育格差 - 米国 12 授業: エリート大学入学と教育格差 - 日本 13 授業: 教育と就職 - 日本と諸外国の比較 14 授業: 教育と経済競争力 - グローバリゼーション時代の人材 15 授業: 試験の答合わせ		

統括的な留意事項	各回テーマ関連資料を事前に見る。
オフィスアワー	水曜日 2 時限 256-C 研究室
メールアドレス	ehkuso@gmail.com メール の 題目に教育と社会、お名前、学籍番号を記入する
ホームページ	http://www2.gol.com/users/ehk/kyosha (常時) http://ehk.servebeer.com/ehk/kyosha (深夜停止) スライド(講義) 参考資料
ノート	